

豊北地区めざす子ども像 「笑顔と学び 未来を語る豊北の子」

下関市立豊北中学校

学校運営協議会について

- ①委員数と構成 12名（地域の方、PTA会長、校区内高等学校長）
- ②実施回数 年間4回（小中合同3回）
- ③主な協議内容
 - ・学校経営の基本方針について
 - ・活動計画と具体的な取組について
 - ・学校運営の状況について（教育活動に関するアンケート）
 - ・子育て支援資料について
- ④コーディネーターの活動
 - ・学校運営協議会の準備と運営
 - ・学校運営協議会主催事業の準備と運営

特色ある活動

◆地域の方と中学生と一緒に学ぶ地域開放講座の実施（学校支援）

実施日：令和2年11月6日（金）

参加者：地域の方（30名）、1年生（41名）

内 容：「お菓子作り」「図書のオリジナル帯づくり」
「フラワーアレンジメント」「体操」の4講座を
実施した。



図書のオリジナル帯づくり

[参加者の感想]

「本が好きなので、とても楽しい時間を過ごすことができました。地域の方は優しく接してくださって、文章作りやペンの使い方も上手でとても参考になりました。」

「最初は、どんなものになるのか分からなかったけど、作っていくうちに分かってきました。とてもおいしくできてよかったです。レシピもすごく簡単で、家でも気軽にできそうでした。講座中は、講師の方や地域の方と会話がはずんでとても楽しい時間でした。」



お菓子作り

◆豊北中学校・下関北高校生徒会による熟議（地域貢献）

実施予定日：令和3年2月下旬（来年度に延期）

テーマ：「私たちが社会（地域）にできること」～生徒会として行える地域貢献～

参加者：中学生（7名）、高校生（11名）、中高等学校運営協議会委員

[熟議の内容]

新型コロナウイルス感染症対応のため、今年度は実施できませんでした。来年度、中学校と高校の生徒会執行部が集い、地域を活性化するための方策について話し合うことを通して、地域や学校のよさを再認識するとともに、各学校の生徒会活動の活性化につなげたいと思います。

来年度に向けて

- ・小中高の学校運営協議会委員や児童・生徒、教職員が参加する熟議を開催し、テーマに応じた協議を深め、実践していきます。
- ・地域人材を活用した学校支援や生徒による地域貢献の活動を推進します。

「笑顔と学び 未来を語る豊北っ子」をめざして

下関市立豊北小学校

学校運営協議会について

本年度、7小学校が一つに統合し、一町一小一中となりました。統合1年目、小中一貫教育の充実を念頭に置きながら、小中合同で3回の学校運営協議会を行いました。これ以外にも、協議したことをより具現化するため、小・中とも、単独で2回、学校運営協議会を開いてきました。

その中で、本校では、「7年間で7つの地域をめぐる遠足」「放課後や下校時の見守り活動」の実現を目指し、話し合いを行いました。

特色ある活動

- ◆ 「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組
実施日：令和2年7月10日・9月1日
テーマ：「7年間で7つの地域をめぐる遠足」
参加者：22名

統合1年目、各校で行ってきた地域と連携した取組やふるさと学習の在り方を見直す必要があり、子供たちがふるさと豊北を愛する心を育む取組ができないかと考えました。そこで、地域の人や場所・ものと触れる中で地域を愛する心を育てることをめざし、「7年間で7つの地域をめぐる遠足」を企画することにしました。

小学1年生から中学1年生までの7年間で7つの旧小学校区全てをめぐるよう、運営協議会委員と教職員が7地域・7グループに分かれ、道順や見所、お世話をしていただける方などを拡大地図に書き込みながら確認していきました。そして、この拡大地図を用いて、プレゼンテーションを行って共通理解を図ったり、付箋・筆記用具を添えて廊下に掲示し、子供たちの意見を反映させたりして、地域・学校・子供が連携して作り上げる遠足を計画することができました。



来年度に向けて

現在、地域とともに作る遠足の実施に向けて、安全確認など、具体的に準備を進めています。その中で、学校と学校運営協議会の連携を強化し、コロナ禍でなかなか進まなかった地域との連携や地域貢献について進めていく必要があります。そして、地域・家庭・学校・子供が連携・協働することで、子供たちの成長を育んでいく気運を盛り上げていきたいと思っています。